

2025年度 英語法人だより

重点目標

「伝える」～自分から話す～ Self expression

- うさぎ組：質問を理解する
単語で話すことができる
- さくら組：短いフレーズで質問に答えることができる
- つき組：日常にある会話のフレーズを理解する
自発的に話す

重点目標として2024年度より3年計画で取り組んでいます。今年は2年目となり、各クラスで目標に向けて取り組んできました。成果や子どもたちのエピソードや学びの成長をお伝えします。



・子どもたちとどう関わってきたのか

子どもたちとはレッスン以外でも、“How are you?” “I’m hungry!”などの挨拶や“Do you like blocks?” “Yes, I do.”など、簡単な会話で英語を使い関わってきました。レッスンでは、子どもたちが質問の意味を理解しやすくするために、「No」の答えを引き出す質問をするようにしています。“What is this?”と靴を指差し、“Is this a hat?”と全く違う質問をすると、必ず“No”的返事が返ってきます。こうしたやりとりから、質問の意味も理解ができるようになり、正解の答えを英語で考へるようになります。普段、子どもたちと関わる際は、子どもたちがより多くの単語に触れることができるよう工夫をしながら、質問の内容を考えています。また、短いフレーズで質問に答えられるようにするために、レッスンで覚えたフレーズを使い会話のやり取りができるようにしています。これらの関わりを通して、日常、先生との英語の会話を楽しむようになっています。

・子どもたちの学びの成長：うさぎ組

4月から英語のカリキュラムが始まり、英語のレッスンにもすっかり慣れたうさぎ組さん。英語の歌が大好きなうさぎ組さんは、意欲的で吸収が早く、新しい歌も先生の口の動きを一生懸命真似しながら元気いっぱいに歌っています。廊下ですれ違った際、“Good morning!”や“Hello”と英語の挨拶ができるようになってきました。さらに、“How are you?”と聞くと、“I’m fine, thank you!”と覚えたお返事ができます。レッスンでは、絵の中の赤い鳥を指して、“What color is the bird? Is the bird blue?”と聞くと、“No!”そして、“Red”と正しく答えられるお友だちも増えてきました。聞かれた内容を理解して、英語の単語で返す力が大きく伸びています。お部屋でブロックで遊んでいた際、“What color is this?”と持っていたブロックの色を聞いてみると“Black”とすぐに返事が返ってきました。周りのお友達はそれを見て、これは“Green!”、“Blue”と次々にブロックの色を英語で言い始めたのです。目標としていた「質問を理解する」「単語で話すことができる」が着実に身についてきましたね！



・子どもたちの学びの成長：さくら組

いつも一生懸命！英語に集中しているさくら組さん。そんなさくら組さんは、質問の意味を徐々に理解し、英語で答えるということができるようになってきています。ストーリーでは、“Is this cap small?”と質問をすると “Big!”と答えます。このように、ストーリーや歌からセンテンスを少しずつ覚えて、先生とのやりとりを楽しんでいます。給食の前にみんなが手を洗っていたところ、私の顔を見るなり、“Wash my hands!”と話しかけてきたお友だちがいました。すると周りのお友だちもすかさずみんなで “Wash my hands!”と言っていました。シチュエーションに合ったことを日常生活で表現し、普段から英語を使う楽しさを感じていますね。レッスンでは、“What color is this?”の質問に、“Blue!”など単語のみの答えではなく、フレーズで答えるように教えると、それを覚えて “It's blue!”と、短い文章で答えるようになっています。短くても覚えたフレーズでやり取りをして、英語で会話をすることが楽しいと感じている子どもたちです。楽しいと感じる気持ちを持つことで、英語をもっと使ってみようという気持ちにつながっています。目標としていた「短いフレーズで質問に答えることができる」ことができるようになってきましたね！

・子どもたちの学びの成長：つき組

いつも積極的、ワンチームで一生懸命取り組むつき組さん。レッスンで出てくるフレーズを使い、日常で使えるようなフレーズを遊びや活動の中で使えるようになっています。“Yes, I do”という歌では、“What do you want?”というフレーズが出てきます。このフレーズを覚えているお友だちは、おままごとをしている時に、お客様役の保育者に向かって“What do you want?”と質問をしてきました。“I want a pizza!”というと、“Here you are”と Pizza を渡します。“Thank you!”と返すと、にっこり笑顔。お買い物の英語のやりとりができました！思わず “Wow!” というと子どもたちも英語で伝えることができた楽しさや充実感を感じている様子でした。また、廊下でスイミングのバス待ちをしていたあるお友だちが、かえるの鳴き声 “Ribbit ribbit”と声を出していると、他のお友だちが“What are you? Are you a ○○?” 動物の名前を入れて聞いていたところ、本人が No, I'm not. I'm a frog! と答えます。質問から始まり、会話のやりとりができています。What are you?を覚えていて、それを普段の生活のワンシーンに何気なく使うことができました。目標としていた「自発的に話す」ことが徐々にできるようになっていますね！

・来年度の目標

- ・今年度の活動と現時点での成果を踏まえ、来年度具体的にどのような関わり方をしていくのかお知らせします。

① 3年間の関わり方の強化 →各クラスの目標に応じた適切なアプローチをしていきます。

うさぎ組：質問に答えられる楽しさを感じられるように歌で覚えた文で質問をします。

さくら組：英語のやりとりが分かる楽しさを感じられるように歌やストーリーの中にある短い文の質問を繰り返します。

つき組：自分のことを英語で表現できる楽しさを感じられるように覚えてきた単語や文を使って会話をします。

② 子どもの能力を引き出す関わり →英語を伝える気持ちが楽しくなるよう、遊びの中から、好きなもの、興味のあるものについて英語で問い合わせるなど、1年目の関わり方からさらに工夫して取り組んでいきます。このようなアプローチを増やしていくことで、英語に慣れ親しみ、単語や短いフレーズが記憶に残ります。そして、2年目、3年目に自分が伝えたいことを話すことができる=「自分自身を表現する」ことへのステップアップにつなげていくようにしていきます。

～ 南北合同 Halloween Party をしました♪ ～ (さくら組・つき組)



<Trick or Treat! >

“Here you are.” “Thank you!”



<Making a Jack-o'-lantern hat>

“It's an orange hat!” “It's cute!”



<Mystery box>

“What is this?” “It's soft!”



<Story>

“Many candies!” “Happy Halloween”

～ 南北 Exchange Lesson をしました♪ ～ (さくら組・つき組)



<育英北幼稚園で Let's go fishing! >

“It's a big octopus!” “I got fish!”



<育英幼稚園で Summer Bingo!>

“Yay! I got a bingo!” “I have fireworks!”